

うぶね

Vol.44

Gifu University Hospital

特集

整形外科 秋山 治彦

就任紹介

医療安全管理室

清水 雅仁 熊田 恵介

トピックス1

お薬相談室を利用してみました!

トピックス2

病院ボランティアさん取材!

お知らせ

病院ボランティアさん募集など



今回の表紙は整形外科の皆さんです!

特集 最新鋭支援ロボットで変わる整形外科手術

岐阜大学大学院医学系研究科副研究科長
岐阜大学医学部附属病院 副病院長

秋山 治彦

NAVIO(人工関節手術支援ロボット)のコンピューター画面を通じて、人工膝関節、人工股関節、人工肩関節、脊椎に関する手術をご紹介します。



NAVIO(ナビオ)

最新鋭支援ロボットで変わる 整形外科手術

人工膝関節手術支援ロボットを導入しました。

あきやま はるひこ
秋山 治彦
岐阜大学大学院医学系研究科副研究科長
岐阜大学医学部附属病院 副病院長

PROFILE

専門／股関節外科学・骨粗鬆症
学会／日本整形外科学会（代議員）
日本人工関節学会（理事）
日本股関節学会（評議員）
日本骨代謝学会（理事）
日本軟骨代謝学会（理事）
International Hip Society など

1988年／京都大学医学部卒業、同医学部附属病院などで研修
1998年／京都大学大学院医学研究科卒業
1999年／テキサス大学MDアンダーソン癌センター留学
アシスタントプロフェッサーとして勤務
骨軟骨細胞分化の基礎研究に従事
2004年／京都大学医学部整形外科助手
2007年／同産官学連携准教授
2012年／同准教授
2013年／岐阜大学大学院医学系研究科整形外科教授
2017年／岐阜大学シニアプロフェッサー
2020年／岐阜大学大学院医学系研究科副研究科長
岐阜大学医学部附属病院副病院長
岐阜大学教育研究評議会評議員



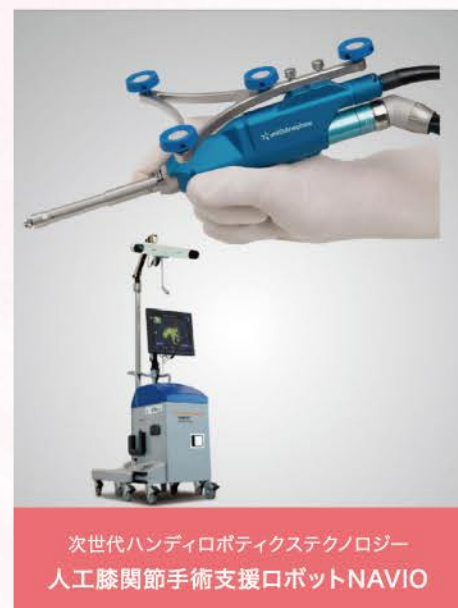
◆ 身体負担を減らした、患者さんに優しい手術へ。

岐阜大学医学部附属病院整形外科は、最新鋭の赤外線誘導式人工膝関節手術支援ロボット「NAVIO（ナビオ）」を東海地方の病院では初めて導入しました。膝関節の軟骨が変性し、すり減り、変形や痛みにより歩行がしにくいなどの日常生活に支障をきたす変形性膝関節症の患者さんは、日本では約2,500万人おられると報告されています。また、スポーツ損傷や骨折外傷後の後遺症や関節リウマチによる膝関節に対してなど、人工膝関節置換術は一般的な治療法となっています。

日本では年間8万例以上の人工膝関節置換術が実施されていて、新しいインプラントや手術手技の開発で臨床成績は向上しています。近年は、患者さんの術後早期の回復・日常生活や社会復帰がますます求められ、また手術自体も膝十字靱帯の温存による高機能膝関節の再建と手術の低侵襲化が重要となっています。

人工膝関節手術支援ロボット「NAVIO」は、高精度・低侵襲手術※を実現し、術後のリハビリテーション期間と入院期間の短縮、早期復帰を可能にします。手術中は、コンピュータナビゲーション技術により患者さん一人一人の膝関節の形態を認識させ、ロボットはドリルの回転を精密にコントロールし誤差1mm以下、角度誤差1度以下という極めて高精度に関節表面を掘削します。さらに、患者さんの膝関節の動きに合わせた靱帯バランス情報を全可動域で解析し、最も適切な位置に人工関節インプラントを設置します。

※低侵襲手術：出血を減少させたり、皮膚の切る範囲を減らしたり、手術時間を短縮することで、患者さんの身体負担を減らした手術のこと。



◆ 適切な治療法で、高齢の患者さんにも元気に歩ける喜びを！

岐阜大学医学部附属病院整形外科では、令和2年1月10日に第1例の患者さんの手術が実施された後、毎週ロボット支援手術が行われています。変形の比較的小さい患者さんには単顆型人工膝関節置換術（UKA）が、変形が進行した患者さんには人工膝関節全置換術（TKA）が行われます。現在は90歳を超えた方でも手術を受けられています。膝の痛みで歩くのが辛い、外出や旅行ができない、家事がままならないなどなど、お困りでしたら、まず外来を受診していただければと思います。

また、現在、岐阜大学医学部附属病院整形外科では、股関節、肩関節、脊椎の手術やリハビリテーションにおきましてコンピューター支援技術を導入しています。近い将来にはこれらの手術やリハビリテーションにも支援ロボットが導入される予定です。



▲ 整形外科の皆さん

◆ 最先端の医療を岐阜の地で！

大都市の病院に行かなくても、岐阜で最先端の医療を受けられるよう、新しい技術を積極的に取り入れ、正確で患者さんの負担が少ない治療を目指しています。

整形外科准教授 松本和先生に、模擬骨を使ってNAVIOの操作の様子を見せていただきました。

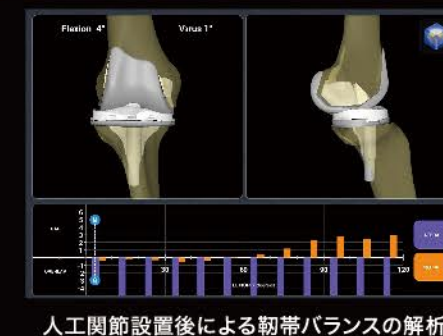
整形外科では、100%の患者さんが満足する手術、どうい術者でも正確に行える手術を目指しています。そのような手術を実現するためにNAVIOが導入されました。



NAVIO

NAVIO（人工膝関節手術支援ロボット）や、コンピューター支援手術のコンピューター画面

人工膝関節手術



人工股関節置換術



リバー型人工肩関節置換術



脊椎のコンピューター支援ナビゲーション手術



岐阜大学医学部附属病院

医療安全管理室

信頼と安心の病院を築くための連携と協働

副病院長・医療安全担当 清水 雅仁

PROFILE

長野県茅野市生まれ。1995年岐阜大学医学部卒業、同第一内科入局、2001年岐阜大学大学院医学研究科修了、2002年米国Columbia University Medical Center留学、2015年岐阜大学大学院医学系研究科消化器病態学 教授、岐阜大学医学部附属病院第一内科 科長、2020年より同副病院長（医療安全担当）。

医療安全管理室 室長 熊田 恵介

PROFILE

郡上市生まれ。1994年三重大学医学部卒業後、聖路加国際病院、川崎医科大学附属病院、高知医療センターを経て、2007年より岐阜大学医学部附属病院 高度救命救急センター、2012年より同 医療安全管理室 副室長、2020年より同 教授・室長。

医療安全管理室とは？

診療科、中央診療部門および事務部門から独立した**病院長直属の機関**です。組織横断的に院内の安全管理を担い、医療事故防止及び医療の安全性向上をめざして調査、分析、対策を立案し、以下を実施しています。

- 医療安全管理委員会
- 医療安全管理室員会議
- リスクマネジャー会議
- インシデント報告の収集、分析、検討
- 医療安全に係る職員教育
- 院内ラウンド
- 医療安全マニュアルの策定
- 日本医療機能評価機構へ報告
- 医療事故対策委員会、外部委員による医療事故調査委員会の支援
- 医療事故調査制度の支援
- 特定機能病院間相互ピアレビューの対応

岐阜大学医学部附属病院医療安全管理室の特徴は？

清水 先生

岐阜大学医学部附属病院の理念は「**あなたとの対話が創る信頼と安心の病院**」です。医療安全管理室は、この理念を体现する上でもっとも重要な部門の一つです。患者さんとの「対話（説明・同意）」はもちろんですが、多職種による医療安全管理室員会議（週1回定期開催）を介して、職員間・組織間の「対話・連携」を密に行っています。医療安全上の問題点を早期に抽出し、危険の予測、再発予防策を積極的に講じることで「**信頼と安心の病院**」を支えることを使命としています。気軽に「報告・連絡・相談」いただける医療安全管理室として、皆さんからさらに信頼いただけることをめざしています。

熊田 先生

附属病院の中で独立した病院長直属の組織であり医療安全担当の副病院長のもと、私を含めた医師2名、看護師、薬剤師、事務職員等により構成された多職種によるチームで安心かつ安全な医療の提供をめざしています。毎日現場から報告されるインシデント報告※を詳細に分析し、同様な出来事が起きないように努めています。当院は年々このインシデント報告数が増加していること、医師からの報告数が多いことが特徴で、これはますます危険なことが多くなっているのではなく、**医療従事者が医療をより安全に行うためにはどうしたらよいかを常に考えなければならないという認識が高まっていることを示しています。**

※インシデント報告：日常診療の場で、誤った医療行為などが患者さんに実施される前に発見されたもの。実施されたが結果として患者さんに影響を及ぼすに至らなかった場合などに報告されるレポート。

新型コロナウイルス感染症に対して、医療安全管理室はどんなことに取り組んできましたか？

清水 先生

熊田室長が「コロナ対策本部」に加わり、生体支援センターと密接に連携・協働することで、通常診療への影響を最小限に抑えるべく努力しました。4、5月は新入職者が加わり職員・組織の入れ替わりもあるため、もともと医療安全的には「ハイリスク」な時期でした。新型コロナウイルス対策はもちろん重要でしたが、その陰で大きな医療事故が起きないように注意していました。大変辛い時期だったと思いますが、すべての病院職員が力を合わせて様々な難題を乗り越えている姿をみて、「**岐阜大学医学部附属病院の底力**」も感じました。

熊田 先生

まずは、新型コロナ感染症に現在も取り組まれている医療従事者の方々、本当に大変なことと思います。新しい生活様式に戸惑っているすべての皆様とともに、この危機を乗り越えていきたいと考えています。当院でも新型コロナ感染症への対処が求められ、感染対策が最優先事項でしたが、同時に**患者さんならびに職員の安全を確保する必要がある**と判断し、当初から医療安全管理室も対応に加わりました。私は救急・集中治療・災害医療を専門としていたため、危機管理の面から少しはお役に立てたかなと感じています。

今後の目標

清水 先生

「医療安全の向上」、「PFM (Patient Flow Management) の管理」、「病院職員全体の働き方改革」はセットです。PFM (患者さんの外来・入院・退院の流れ) を安全に管理できれば患者さんの満足度はアップし、職員の業務は整理・軽減され、医療事故のリスクも低下します。この3課題において、医療安全管理室としての責任を果たしたいと思います。

熊田 先生

大学医学部が一つしかない岐阜県が地域の医療レベルを向上させるためには、地域の医療機関との連携が大切です。今後も地域の医療機関との連携をさらに進めていきたいと思っています。また、安全文化の構築だけでなく、これを達成する医療人の育成を目標として、院内職員教育はもとより、医学生教育、次世代のGRM (医療安全管理者) 育成、岐阜県内の医療者教育を進めていくつもりです。



医療安全管理室員のみなさん

医療事故防止及び医療の安全性向上を目指し、インシデント報告のレビュー、重要事例の抽出や患者影響レベルの検討、死亡退院事例の検証、診療内容のモニタリング、追加調査の必要性の有無、対応方針等を週に1度検討しています。

private time



清水 先生

大学時代はラグビー部に所属していました。写真はラグビーワールドカップ2019日本大会、日本対サモア戦（豊田スタジアム）です。今考えれば信じられない「密」な空間でした。

private time



熊田 先生

40歳からマラソンをはじめ、数年前からウルトラマラソンにも出場している市民ランナーです。最近は山登りも始め、白山頂上でご来光を拝みました。

お薬相談室を利用してみました！

当院には「お薬相談室」という部屋が投薬カウンターに向かって右にあります。こちらでは、薬剤師が患者さんの薬に関するご相談を受けています。当院にかかっている患者さんやそのご家族の方を対象とした相談室で、相談料はかかりません。

患者さんの中には、「相談してみたいけれど、どのようなところかわからない。」と不安に思われる方もいらっしゃるかもしれません。今回は、お薬相談室の利用申込の方法や、実際の相談の様子をご紹介します。



1 お薬相談室の入り口

受付・会計のカウンターを右に見て、そのまま進むと、『お薬カウンター』の手前に、右に窓がついた小さなドアがあります。



ドアにはこんなプレートが！
ここが「お薬相談室」！

2 申し込みの手続き

お薬相談室の利用は、予約不要！

『お薬相談室』に向かって左手にある『お薬カウンター』で申し込みをします。



はい。それでは
右のお薬相談室へ
どうぞ！

お薬の相談を
したいのですが。

3 いよいよ先生と相談



ご心配事など、
お気軽に
ご相談ください！

小林薬剤師 副部長

今回の担当は、小林先生でした！

お薬相談室の扉を開けると机と椅子、奥にはカルテや資料が見られるパソコンがあります。相談には、患者さんご本人と一緒にご家族の方もいらっしゃることもあるため、椅子は4脚用意されています。

「高血圧の薬を2種類飲んでいますが、お薬手帳を見てもこの2種類の薬の違いが判りません。どう違うのでしょうか？」「この薬を飲んでいるときに、市販の鎮痛剤は飲んでもいいですか？」「高血圧の薬を服用時には、グレープフルーツを食べてはいけないと聞いたのですが、他にも食べてはいけないものはありますか？」などの質問をしました。



「お薬相談室」を利用するときには、
お薬手帳をご準備ください！

小林先生は、実際の薬を指さしながら、薬の種類や、飲み合わせ、食べ合わせなど、わかりやすく説明してくださいました。疑問に答えていただき、今後の治療も納得して受けられるように感じました。『お薬相談室』では、お薬のことならなんでもご相談をお受けいたします。例えば、「錠剤は飲みづらい」とか、「粉薬は苦手」などの悩みなどもご相談ください。

お薬相談室より

近年、医療を取り巻く環境の変化とともに、薬剤師の業務は、薬を正しく用意することは当然のことながら、患者さんが薬を正しく服用するための指導にも重点が置かれるようになりました。それらによって、患者さんの生活の質（QOL）を改善することが、薬剤師の業務の根幹であると考えています。

当院では外来化学療法室での全患者指導や抗菌剤の適正使用への関与等、他の施設に先駆けて医師、看護師等、職種の壁を越えて一緒に様々な業務を行っています。

お薬相談室はお薬カウンターのすぐそばに設置しており、当院で薬をもらっている患者さんのみならず、病院に来られたすべての患者さんやそのご家族のお薬に関する疑問にもお答えしています。普段、かかりつけ医やかかりつけ薬局で聞けなかったことや、ふと疑問に思ったことなどお気軽にお声がけください。



病院ボランティアさん取材！

岐阜大学病院では、外来の患者さんのお世話をするボランティアさんがいます。車椅子を押したり、問診票記入のアドバイスをしたり…ちょっとしたお手伝いをしています。楽しそうに活動されているボランティアさんに、お話を聞いてみました。

年齢問わず元気に
活躍されています！



山田 末吉さん

平成21年6月1日からボランティアを始め、もう11年目になります。妻が、入院した時に病院内のボランティア募集のポスターを見て、「私がやりたいんだけど、体力的に不安だから、代わりにあなたがやって！」と言われて始めました。

患者さんからの、「ありがとう」「ごころさま」という言葉に支えられて続けてこれました。



熊沢 京子さん

病院ボランティアは、今年22年目。病院ボランティアが始まった当初、まだ岐阜大学病院が司町にあった時からやっています。あの頃はまだ、ボランティアの先輩がいなかったため、看護師さんに車椅子の操作方法を教えてもらいました。初診の際にお世話した患者さんが、退院される時に私を覚えてくださってお礼を言われることも度々あります。患者さんとの一言二言の会話が楽しく、週2日のペースで長く続けられています。



渡辺 芳枝さん

仕事を辞めた後、何となく社会から取り残されたような気持ちになっていた時、病院内の「ボランティア募集」のポスターを見て登録しました。患者さんから自分が必要とされていることにやりがいを感じ、楽しくボランティア活動をしています。



富永 綾子さん

近所の方から誘われてボランティアを始め8年ぐらいいなります。長浜市で仕事をしていた時、ボランティアで生き生きと働いている方に接して、「自分も退職したらボランティアをしよう！」と心に決めていました。

具体的には院内で
どんなことをするの？



院内の図書館で
本の整理をします！

車椅子での
エレベーターの乗り降りも
お手伝いします！



エントランス付近にスタンバイ！
病院に着いた患者さんに車椅子が
必要かどうかを見極め、
必要な場合はすぐに持って
いきます！



問診票の書き方が
わからない方に
やさしくアドバイス！

～この他に、支払機の操作方法のアドバイスなどもします！～

あなたの手助けで病院に笑顔が増えていきます。診療サービス係 福田係長

現在ボランティア登録をされている方は20名ほどです。1日3～4人で活動していただいています。楽しんで生き活きと活動される姿を見ると、私たちもとても励みになります。

皆さん長く活動して下さっている方が多く、年齢層も高くなってきました。少しでも興味がある方がいらっしゃれば、ぜひ、ボランティアにご参加ください！



ボランティア募集！

当院では、ボランティアさんを募集しています。
あなたの行動が患者さんのやすらぎになり、患者さんの「ありがとう」があなたの喜びになります。
興味のある方は、下記担当までお気軽にお声掛けください。

- 内容 ● 受付、受診科等への案内および誘導
● 患者搬送の介助
● 車椅子、歩行器等の清掃及び点検

時間／平日8:30～17:00までの内、
約3時間程度(時間応談)

場所／病院玄関、外来フロア

お問い合わせ

医療支援課 診療サービス係

TEL.058-230-6106

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/recruit/volunteer/>



一緒に活動しませんか？

お薬手帳をお持ちください！



お薬手帳とは、自分が服用しているお薬の名前、服用量・服用方法、処方日、処方した病院(医師)や調剤した薬局(薬剤師)などを記載するための手帳です。また、薬のアレルギー歴、副作用歴、過去に罹った病気などを記載できるようになっています(図)。

図-お薬手帳

医師、看護師、薬剤師などの医療従事者にお薬手帳を見せることにより、これまでの治療に関わる情報を正確に伝えることができます。つまり、お薬手帳は患者さんと病院と調剤薬局を結ぶ架け橋のような役割を果たしていると言えます。お薬手帳は処方せんを持って行った薬局で作ってもらえ、冊子式のお薬手帳と、最近ではカード型やスマートフォンのアプリを利用した電子お薬手帳もあります。



鈴木昭夫 薬剤部長

アクセスマップ

岐阜大学

医学部附属病院
大学院医学系研究科
医学部医学科
医学部看護学科



自家用車で越しの方は、外来患者
駐車場が約600台ありますのでご
利用下さい。(24時間利用可)

※大学病院前交差点よりご来院ください。

東海環状自動車道
(仮称)岐阜IC
工事中

岐阜大学

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

至揖斐 至岐阜 至山県 至山県 至山県

【駐車整理料金】

区 分	駐車時間(入構時間)による料金					備 考
	30分まで	60分まで	60分～90分	90分～24時間	24時間～	
外来患者	無 料			100円	加算金額 500円/24時間	
・入院日当日の患者及びその付添者 ・退院当日に来院したその付添者 ※入院期間中継続駐車している 場合の退院日は含まない。	無 料			100円	加算金額 500円/24時間	※入院期間中の 駐車は料金が発生 しますのでご 遠慮ください。
一般外来者 ※面会・お見舞い 他	無 料		200円	加算金額 100円/1時間 (上限500円/24時間)	加算金額 500円/24時間	

- 認証機設置場所／平日(8:30～17:00)1階会計窓口・入院センター・退院窓口・その他の時間1階夜間受付
- 事前精算機設置場所／1階エントランスホール・1階時間外出入口

【病院へのアクセス】

鉄 道	JR	東海道本線 「岐阜駅」で下車	
	名古屋鉄道	名鉄本線 「名鉄岐阜駅」で下車	
バ ス	岐阜大学・病院線	約30分	320円
	直行便清流ライナー	約25分	
	岐南町線	約40分	
タクシ	JR岐阜駅 名鉄岐阜駅	約20分	約3,000円